

## M&I メンテサービス 栽培品種

### ・レクスター / 七宝 (早生種) ・スパー・アップ (極早生種)

「新玉ねぎ」と呼ばれ、水分が多いため貯蔵には不向きですが、みずみずしくて柔らかく、生でも甘くて美味しいのが特徴です。

〔収穫時期：4月～5月〕

### ・ターザン (中生種)

淡路島を代表する品種です。新玉ねぎより辛味成分が増しますが、糖度が高く、加熱するとさらに甘くなります。長期保存が可能で、冷蔵保存しても味・品質の変化が少ないのが特徴です。

〔収穫時期：5月下旬～6月〕

### ・もみじの輝 (晩生種)

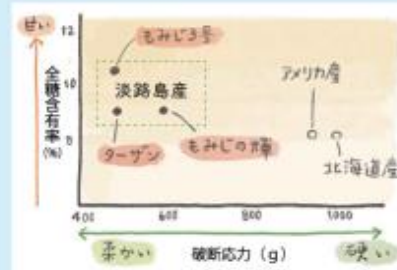
収穫後は翌年の3月末まで貯蔵が可能で、さらに貯蔵すればするほど熟成し、甘みが出るという特徴があります。身が締まっていて、病害にも強い品種です。

〔収穫時期：6月〕



### ◆ 淡路島たまねぎの美味しさ

淡路島たまねぎの主な品種と他産地の品種を比較すると、淡路島産は「甘さ」「柔らかさ」に秀でていることが科学的な分析で明らかになっています。弊社の栽培品においても同様の糖度、柔らかさを有しています。



「兵庫県農林水産技術総合センター淡路農業技術センター資料」より  
※「淡路島たまねぎ」は地域団体商標です。

## ■ 冷蔵貯蔵庫 (南あわじ市中条中筋)



※2021年6月完成

施設内容 冷蔵倉庫3室 (除湿乾燥機能付)  
床面積 約600㎡ (3,550cm × 1,700cm)



たまねぎ栽培は天候や貯蔵病害 (灰色腐敗病・黒かび病等) の影響を受けることがあります。

弊社では当施設を導入し、適切な温度・湿度管理を行うことで、病害を抑制し、年間を通じて高品質で安定した市場への出荷を見込めます。

## ● 前期生産実績

品種名	圃場所在地	作付面積	たまねぎ収穫量
レクスター	中条中筋/広田中筋	9,145㎡	16,592kg
七宝	中川原	8,283㎡	34,944kg
ターザン	中条中筋/鮎屋/前平	6,630㎡	26,400kg
もみじの輝	鮎屋/金屋/上堺	17,596㎡	70,400kg

前期 (2021年収穫分) は総面積 約4町 (≒40,000㎡) の土地で、主に4品種のたまねぎを栽培いたしました。「新玉ねぎ」にあたるレクスター・七宝は長期保存ができない品種のため、4月～5月の収穫時期のみの出荷になります。一方で、ターザン・もみじの輝については長期保存が可能のため、5月下旬～翌年3月末まで一定の供給が可能です。

## ● 今期生産計画

品種名	作付面積	収穫量 (※推定値)
レクスター	約7,000㎡	28,000～42,000kg
七宝	約28,000㎡	112,000～168,000kg
ターザン	約39,000㎡	156,000～234,000kg
もみじの輝	約36,000㎡	144,000～216,000kg

今期 (2022年収穫分) は前期の栽培データを基に、さらなる増産を予定しています。具体的には、圃場を前期の2.5倍にあたる10町 (≒100,000㎡) 程度に拡大いたしました。玉ねぎの総収穫量としては440t～660tを見込んでいます。将来的には30町まで自社管理の圃場拡大を計画しています。

